

東信産カラマツの流通実態と今後の課題

岩村田・小諸担当区事務所 粥川 隆之

要 旨

東信産カラマツの需要拡大を図るために、カラマツ材の流通実態、問題点等について今回初めて調査を行い、今後東信地方の木材産業が指向すべき方向を検討するとともに、国有林としてどのように対応して行くかを考察した。

は じ め に

今日、東信地方のカラマツ材についても「信州カラマツ」として、需要拡大が進められ、主産地形成が図られているが、材価の低迷や生産コストの上昇など依然厳しい状況が続いている。

東信地方におけるカラマツ材の需要拡大を図るために、素材業者、製材業者、工務店を対象に、アンケート調査を行い、カラマツ材の流通実態、問題点及び要望点を調査した。

I 調査方法

東信地方の各市町村で木材業を営んでいる業者の中から、素材業者14社、製材業者21社、工務店15社の合計50社を任意に選び、それぞれの業種ごとに直接聞き取り、又は郵送回答によるアンケート調査を行った。

II 調査結果

アンケート結果は図-1～9の通りである。

1 素材業者の実態

(1) 1業者当たりの主・間伐別割合

間伐が全体の86%と大きく、主伐が14%である。

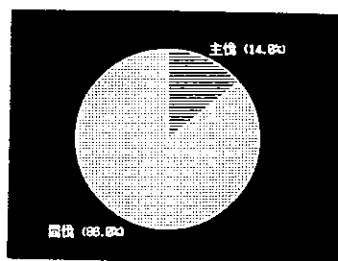


図-1 主・間伐別割合 (素材業者)

(2) 1業者における径級別割合

間伐材が86%と多いことに対応して20cm以下の細い材が81%と多くなっている。

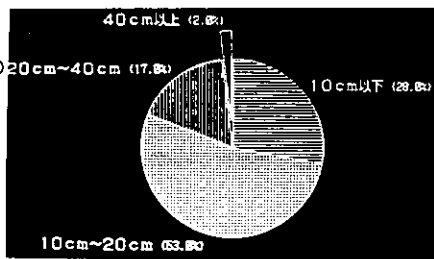


図-2 径級別割合 (素材業者)

(3) 1業者における用途別生産割合

土木用材，建築材が多いなかで，極めて少量であるが，ハゼ棒，キャンプファイヤー用薪材があった。

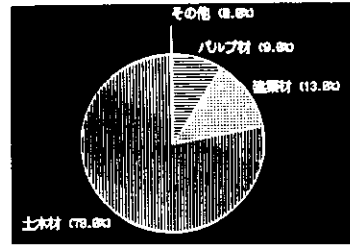


図-3 用途別割合 (素材業者)

2. 製材業者の実態

(1) カラマツ素材の径級別割合

径級10~20cmが半数近くを占めている。

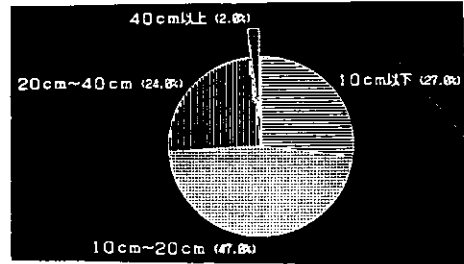


図-4 径級別割合 (製材業者)

(2) 1業者における用途別割合

建築材が61%である。

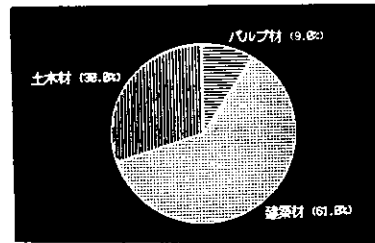


図-5 用途別割合 (製材業者)

(3) 国産材，外材別割合

外材が73%と多くなっている。なお，外材しか扱っていない業者は調査21社中に38%である。

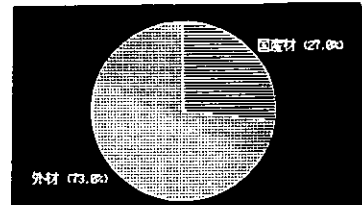


図-6 国産材・外材使用別割合 (製材業者)

3. 工務店の実態

(1) 樹種別割合

外材においては米ヒが中心で，ほかは米マツ，米ツガである。

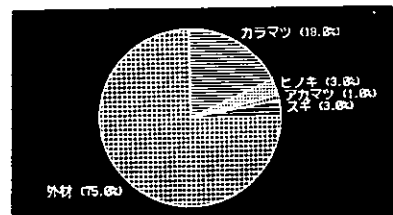


図-7 樹種別割合 (工務店)

(2) 建築種別割合

一般住宅が82%と中心である。

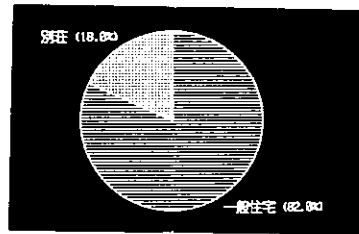


図-8 建築種別割合 (工務店)

(3) 一般住宅におけるカラマツ材用途別割合

土台32%, たる木16%である。

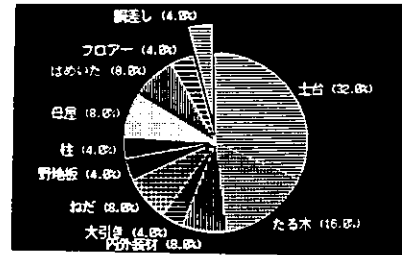


図-9 カラマツ材の用途別割合 (工務店)

4. 各業者のあげたカラマツ材の問題点及び要望点

(1) 素材業者

ア. 問題点

材価が安すぎるため、人件費等の搬出コストの占める割合が高い。

イ. 要望点

搬出コストを下げるために、林道、作業道の整備をしてほしい。

(2) 製材業者

ア. 問題点

小径木が多いため歩留りが悪く、需要が少ないために注文が少ない。

割れ、ヤニ、狂いをなくすために脱脂、乾燥すると材価がスギ材と同じくらい高くなる。

イ. 要望点

公共建築物に多くのカラマツ材を使用し、需要拡大につとめ、多くの人にカラマツ材の良さをPRしてほしい。

(3) 工務店

ア. 問題点

カラマツ材の欠点(狂いが大きい, ヤニが出る, 割れが生じる)のため建築材として使用しづらい。

イ. 要望点

色の良い天然カラマツ材, 狂いが少ない65年から70年以上の高齢級の大径材, 色が良く, ヤニが少ない浅間山麓のカラマツ材など優良カラマツ材が欲しい。

Ⅲ 東信産カラマツの需要拡大を図るための方策

1. カラマツ材の新しい用途の開拓，開発
東京営林局の東京木材センターに展示されている木造多木のホールのように脱脂，乾燥させなくても，ねじれや曲りを防ぐ工法を開発した例がある。
2. 搬出コストを下げることである。
林道，作業道の効率的開設，新しい搬出方法の開発を図る。
3. 優良カラマツ材の生産
30 cm以上の尺上材が生産できるようになるまで伐期を延長し，間伐の推進を図る。
4. カラマツ材をPRする。
官民一体となってカラマツ材の良さを積極的にPRする。

Ⅳ 国有林サイドとして

1. 木材の安定的，持続的供給
国有林の使命である木材の安定的，持続的供給を聖む声が多くよせられた。
2. 天然カラマツ代替材の生産
高齢級カラマツ材（65年から70年生以上）のカラマツ林分を増設して，優良材生産に努める。
3. カラマツ材の需要拡大に向けての努力
国有林内におけるリゾート施設等のカラマツ材使用を義務づける。

おわりに

東信産カラマツ材の需要拡大に向けて，アンケート調査を行い，各業界の方々から貴重な意見を出していただいたことに対し，お礼申し上げますとともに，国有林として地域と一体となり努力したいと考える。